



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2021-2022年度 鯖江ロータリークラブ

2021-22年度 国際ロータリーテーマ

2021-22年度 第2650地区スローガン



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「活力と輝き」

—ロータリーの基本を大切に—



鯖江ロータリークラブ会長方針

「元気に～いま、私にできることを～」

会長 帰山 明朗

第3009回
5/6(金)

5月第1例会

点鐘:12:40

テーマ「変態が改革する多様性社会」

会員卓話 **桑原 重之 会員**

第3010回
5/13(金)

5月第2例会

点鐘:12:40

テーマ「日野川環境の現状について」

(株)キミコン 代表取締役
卓話 **木水淳文様、井上哲夫様**

第3011回
5/20(金)

5月第3例会

点鐘:12:40

文化プログラム

テーマ「ヴァイオリンとハープで紡ぐ名曲の宝箱」

出演者 **山口 梨恵 様 (ヴァイオリン)**
佐々木 美香 様 (ハープ)

5/6(金)

第3009回

4つのテスト

出席率 75.8%

鯖江商工会議所 4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

奉仕の理想

会長の時間

帰山 明朗 会長

今先日4月25日(月)夕方の4時から、当クラブから吉江学園への寄付贈呈を執り行いました。

前回の例会で会員の皆様には、清水社会奉仕委員長から事前にお知らせいただきましたが、鯖江ロータリークラブは、「社会福祉法人吉江学園(鯖江市西番町)に対し、除湿器等(9,845,000円相当)を奉仕事業として寄贈させていただきました。

寄付を行った日には、4月25日午後4時。場所は鯖江市内、西循環線、浅水川を福井に向かって超えて西側にある、吉江学

園施設内において、クラブよりの参加者は、清水社会奉仕委員長、岡本理事、そして私の三名。同学園の平野園長様と八田事務長様に、

- ①除湿器 1台(78,000円税別)
- ②デジタル電波式時計 1台(3,500円税別)
- ③電波式掛け時計 1台(8,000円税別)以上、3品を寄贈してまいりました。

今回寄付を行った理由について、吉江学園のお取組みについてもご紹介しながらお話しさせていただきます。



吉江学園は鯖江市内に立地し、各家庭のいろいろな事情によって県から委託された幼児から高校生までの子ども達が共に生活する児童養護施設です。昭和21年に設立されてからこれまで、長きにわたり社会的養護を担う施設として、子ども達の健やかな成長を願い「家族の再構築」・「社会的自立」を目指し、家庭的な支援を着実にやってこられており、これまでも、鯖江クラブ、合併前の鯖江北クラブともに寄付を行った実績もある。

今回、同学園が男子寮(栄輝寮)を新設されたことに伴い、必要備品が生じたこと、同学園からの要望もいただいたこともあり、理事会で諮った上にて、当クラブの社会奉仕・青少年奉仕の一環として寄付を行いました。

吉江学園には、現在は、小さい子から高校生まで、男女32名の子ども

たちが入所されています。普段来ている衣服の洗濯について大きい子どもたちは、原則、自分たちで洗濯して干すのですが、屋内に干すのですが、梅雨時期・冬場などは乾きにくい

ので除湿機はとってもありがたいとのこと、また、施設が新しくなったので集会場などに置く時計も大変ありがたいです。どちらも本当にありがたく大事に使わせていただきますとのお言葉も園長先生からいただきました。

寄付した品が少しでも学園のお役に立てることを、そして、同学園の子供たちがますます健やかに成長されることを皆さんと共に祈りして、今回の寄付についてのご報告とさせていただきます。

幹事報告

佐野 直美 幹事

皆さまこんにちは幹事報告2点ございます。

1点目は 例会終了後に5月の定例理事会を3階事務所に

で行います。理事の皆さまはご移動お願い致します。2点目は 残念なお知らせです。榎原会員より退会の申し出あり、会長他の皆さままで、お引き止め等されましたが4月末日で退会されました。6月まで会員でいれますのでともお話ししましたが、4月末日でと仰られましたので、報告致します。鯖江市ですのでまたおあいする事もあると思われまますので、皆さんもお話等なさせて頂き。以上です。

結婚祝い



窪田 健一 会員	吉田 俊博 会員
清水 康弘 会員	堀江 邦旺 会員
桑原 重之 会員	瀧ヶ花 秀晃 会員
橋本 政宣 会員	西尾 俊一 会員

誕生祝い



田村 康夫 会員
岩尾 顕治 会員

勤続表彰



堀江 邦旺 会員
吉田 俊博 会員
小山 俊明 会員
笹尾 昌敬 会員

会員 桑原 重之 会員 テーマ 「変態が改革する多様性社会」



孝久 治宏 プログラム委員長
 本日の卓話は、会員の桑原さん「変態が改革する多様性社会」がテーマです。実は、昨年12月に予定しておりましたが、諸事情で2月に延期となり、更に本日、卓話をいただくことが出来ました。ずっと楽しみにしていましたので、皆さん拍手でお迎えください。
卓話者: 桑原 重之 会員
テーマ: 「変態が改革する多様性社会」
 (2720地区、地区大会記念講演より抜粋)

立命館アジア太平洋大学学長 出口治明氏)
 先ずどんな問題を考える上でも、現状分析から始めること。今の日本の姿、社会の様子が現在どうなっているのか、ということを見ることがとても大切です。

例えば総理大臣の評価を聞くとします。(当時安倍さんが総理を務めていました)この安倍首相の評価を「よくやっている」、「もう長いことしているし、そろそろ代わった方がいいんじゃないか」本当に意見はまちまちです。なぜそんなに意見が異なるのかといいますが、皆それぞれ「色メガネ」で見ているからです。「色メガネ」とは何か、それは皆さんの「人生観」、「価値観」のことです。「色メガネ」をかけて総理を見ているから、ひとそれぞれで意見が違うのです。人は自分が見たいように現実を変換して見てしまう動物なのです。もう2000年前に、ジュリアスシーザー(共和制ローマ時代の政治家、軍人)が、『人間は見たいものしか見ない』とすでに喝破しています。ですから、世の中を「色メガネ」ではなく、きちんと見るためには、**方法論**が必要、代表的な方法論は、**タテ・ヨコ・算数で考えることが必要**と言っています。**タテ思考**とは、昔の人はどう考えたか、昔の人の考えを学ぶこと。歴史を紐解くことは、とても参考になります。**ヨコ思考**とは、自分以外の他人の意見、つまり世界中の人の意見が参考になります。**算数**とは、エビデンス(根拠・証拠)に基づく思考が必要です。つまり、データに基づいて分析することです。この三つの**方法論**で世の中をきちんと見ていくことが肝要と言っています。

1989年から2019年までの平成30年間を見ても、日本の国際競争力は、1位から30位に落ちてしまいました。これはどう考えても経済運営はうまくいってなかったということです。問題は、なぜ日本がこのように凋落してしまったのか、ということです。世界のトップ企業20社にランクインされた企業を見てみればすぐに分かります。トップ企業20社の主な顔ぶれは、G.A.F.Aの頭文字を取って、ガーファと総称されるアメリカの巨大IT企業は、いずれも若い企業です。また、「GAFA」の予備軍を「ユニコーン」と呼んでいますが、その数もアメリカと中国で8割を占めています。このデータからも、日本はこの30年間に新しい産業を生み出すことが出来なかったということになります。

では、**新しい産業を生み出すカギは何か**ということですが、世界中の学者がGAFAやユニコーンを研究して、すでに答えを出しています。**キーワード**は3つあります。**女性・ダイバーシティ・高学歴あるいは勉強**です。

第1のキーワード女性、今や製造業のGDPのウエートは2割ギリギリまで落ち込み、サービス産業中心の時代となっています。しかし今、日本の女性の地位はどうなっているのでしょうか。2021年発表の報告書、世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数は、155か国中、日本は120位です。先進国で

は、女性の地位が一番低い国になっています。ですからある意味、ユニコーンが生まれにくい、新しい産業が生まれにくいということが分かります。

第2のキーワード、ダイバーシティ(多様性)、2018年、ラグビーワールドカップが日本で開催されましたが、日本のONE-TEAMは頑張ってベスト8に入り、率直に皆さん「良かったなあ」と思ったと思います。しかし、いわゆる外国人抜きでチームを編成した場合、ベスト8まで進めたでしょうか。しゃべる言葉も、肌の色もばらばらなONE-TEAMでしたが、目的が一つなら言葉や肌の色の壁を越えて頑張れるということが証明されました。今の日本は、大企業やいろいろな組織があまりにも50代、60代の男性に偏っていて、ダイバーシティが乏しいから新しい産業が生まれにくいのではないのでしょうか。それでは将来どんな社会を作るのか。ということに対し、出口先生は、「人、本、旅」の社会だと提言しています。早く帰って、会社以外の人と会って、いろいろな刺激を与えあうこと。ロータリーはその最適な環境の一つではないのでしょうか。そしてたくさんの本を読むこと。また旅というのは、海外旅行の事ではなく、話題の町があれば行ってみる。はやっているパン屋があれば寄ってみる。行って、買って、食べるということです。足を使って多様な広い世界を体験することによって脳に刺激が与えられ、その結果、アイデアが湧いてくるのではないのでしょうか。

第3のキーワード「高学歴あるいは勉強」「僕は3年前から立命館アジア太平洋大学学長として教育に携わっています。いつでも遊びに来てください」と学生や保護者に呼びかけています。保護者から「子どもをどのように育てたいのか」とよく聞かれますので、答を3つ用意していると言われ、次のような話をされています。

一つ目、顔が異なるように、人の個性も能力も皆違うのだから、「比べる」という事をやめること。人間は全て異なっていると認めることが、個性なのです。アイデア勝負の時代は、その個性が何より重要なのです。従来の日本教育方針は、決めた事は皆できちんと守りましょうということでした。それは決して悪いことではありません。でも今やそれだけでは新奇なアイデアは生まれてこないのです。人は皆、違って当たり前と認めることが個性であり、人は比べないのが大事。お子さんをよそのお子さんとは比べないで頂きたい。
二つ目、好きなことは勉強でなくても、ちっとも構わないということ。どんなことでもいいので、その子が好きなことは最後までさせる、ということです。ノーベル賞を受賞された吉野彰さんが、「カギは好奇心と執着心」と言っておられました。「好きなことだから最後までやれるのです。それを途中で『何やっているの、勉強しなさい』と言われてしまうと最後までやり抜く力が育ちません」と。人生で成功した人々には、「最後までやり抜く力」が備わっています。好きなことを諦めずに最後までやり遂げるから大発見などの成功に至るのです。
三つ目、人は、頭で考えているだけでは駄目です。行動してなんぼ、ということです。お子さんが一生懸命行動した時は、結果は度外視して、ひたすらほめてあげてください。子どもはほめられることによって、自己肯定感を獲得するのです。個性を大事にする。執着心や自己肯定感を育てる。これは全世界の教育界が目指している方向です。今までの日本教育のように、均質的な優等生を生み出すシステムは、もうやめたほうがいいのです。これからは個性のどがった人、「変態」を皆で大事に育てていかなければなりません。その子どもたちの中には、「スティーブ・ジョブズ」の卵が何人も潜んでいるのです。コロナ後の社会変革に、何かヒントになるアイデアが浮かべば幸いです。

委員会報告



岡本 圭子 親睦委員長
 先日、三床山に行ってきました。とても楽しかったです。奨学生の子さんも一緒に登ってくださって、彼の人柄の良さに感動しました。

一緒にご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。前日どしゃ降りでしたが、晴男の吉田会長のお陰で当日は晴れました。実は、あまりに楽しかったので3日にも私は三床山に行きましたが、朝少し雨が降って、山道は少しジクジクでした。また、皆さんのご参加をお待ちしています。

- 佐野 直美 会員
- 齋藤 多久馬 会員
- 酒井 芳則 会員
- 大橋 良史 会員
- 野中 敏昭 会員
- 窪田 健一 会員
- 小淵 洋治 会員
- 岩尾 顕治 会員
- 田村 康夫 会員
- 桑原 重之 会員

- ここにBOX報告
- 帰山 明朗 会員 5月になりました。今もよろしくお願ひします。桑原会員の卓話よろしくお願ひします。
 - 梅田 吉臣 会員 三床山登山 楽しかったです
 - 清水 康弘 会員 結婚祝いを頂いて
 - 深見 泰和 会員 暑くなりました くれぐれもお体大事にして下さい
 - 吉田 俊博 会員 三床山登山無事で楽しく終ることができました。ご苦労でした。結婚祝いをいただき 桑原さんの卓話楽しみに
 - 誕生祝いをいただいて
 - 5/30はごみゼロの日です
 - 結婚祝いをいただいて 卓話の時間をいただいて